

## 令和5年度 第1回石狩市健康づくり推進協議会 議事録

日時 令和5年11月1日(水) 18時30分～19時45分  
場所 石狩市役所 5階 第1委員会室  
出席者 八島絵美会長、中川賀嗣副会長、江頭裕二委員、松永雅和委員、上田均委員、  
西野典男委員、仲尾悦子委員、西山繁治委員、金木渉委員、向田久美委員、  
戎屋孝一委員、中村枝美子委員、阿部侃委員  
事務局 保健推進課長 富木浩司、国民健康保険課長 新関正典、スポーツ健康課長 松永実、  
保健師担当課長 廣瀬芳江  
保健推進課主査 岩本瑞恵、竹瀬麻紀、田中昌子、保健推進課主任 山本忍  
欠席者 山本長史委員 健康推進担当部長 市園博行  
傍聴者 1名

### 次第

#### 1 開会

#### 2 議題

- (1) 石狩市健康づくり計画(第2次)の最終評価案について(資料1)
- (2) 石狩市健康づくり計画(第3次)の計画案について (資料2)

#### 3 その他

#### 4 閉会

=====協議内容の記録(協議経過、質疑、意見等)=====

※ 以下の質疑・意見については、○委員発言要旨、●事務局発言要旨

#### 1 開会

#### 2 議題

##### (1) 石狩市健康づくり計画(第2次)の最終評価案について

●(竹瀬主査) 資料1石狩市健康づくり計画(第2次)の最終評価案を説明。

##### 【質疑・意見】

○(西野委員) 石狩市健康づくり計画(第2次)の最終評価案については、令和5年度に行ったアンケート調査の結果をもとに達成度を評価していると思われませんが、2,000人の無作為抽出アンケートで有効回答数が345人となったことについてどのように判断しているのでしょうか。

また、令和元年度に行った中間評価時のアンケートの回答率についてもお答えいただきたいと思います。

●(廣瀬課長) 中間評価時の回答率は21.1%です。前回よりも今回のアンケートの方が回答率は下がっており、これはインターネットでの回答にしたことで、60代の市民の回答数が減少したことが要因として考えられます。信頼度95%を基準に考えると380人以上の有効回答数がほしかったのは事実ですが、代わりに20代から30代の市民の回答数が上昇した

ことで、より市民の実態に即したアンケート結果になったと考えており、今回の有効回答数を評価に用いてもよいと判断しました。

- (戒屋委員) 歯周病検診の対象者を教えてください。
- (廣瀬課長) 歯周病検診の対象者は40歳、50歳、60歳、70歳の方及び妊婦となっています。
- (戒屋委員) 歯周病検診は糖尿病等の重大な病気の発見に繋がる重要な検診であることから、特定検診に含めてもよいのではないかと一市民として考えています。
- (江頭委員) 現在国の方では、国民皆歯科検診制度を検討しており、まだ詳細は示されていないが、検診に含まれるようになると思います。
- (八島会長) 「過去1年間で歯周病検診を受けている人の割合」が中間評価のCからBに上がったのは、20代から30代の市民の回答数が増えたことも影響していると思いますか。
- (廣瀬課長) その可能性はあると思います。

## (2) 石狩市健康づくり計画(第3次)の計画案について

- (岩本主査) 資料2石狩市健康づくり計画(第3次)の計画案を説明。

### 【質疑・意見】

- (八島会長) 6ページの図表6では最も高い死因が腎不全となっていますが、この腎不全の実態についてのデータはありますか。
- (廣瀬課長) 図表6は単純な死因のデータのみとなっており、腎不全の実態についてお答えはできませんが、国民健康保険加入者のみであれば調べることは可能です。
- (八島会長) 図表6と図表5を見ても、死因はがんを除くと、ほとんどが糖尿病に関連する死因であり、メタボリックシンドロームの該当者も年々増加していることから、糖尿病が影響しているのではないかと思います。図表では糖尿病に関しては直接的なデータが無かったことが気になりました。
- (金木委員) 会長と全く同じ意見です。生活習慣病の分析や6ページの表でも糖尿病が触れられていないことが気になっています。糖尿病のデータを分析することでもっと状況が改善するのではないのでしょうか。
- (廣瀬課長) 石狩市で今一番課題としているのは高血圧対策で、患者数も多く指導効果も表れやすいことから、まず高血圧から取り組もうとしているところですが、糖尿病も見逃せない疾患であり、日常的に検診を受けた人で血糖値が高い方には個別の案内やアドバイスをしておりますので、計画では糖尿病についても表現できるようにしていきたいと思えます。
- (八島会長) 西野委員にお伺いしたいのですが、糖尿病対策としては運動が効果的な取り組みだと思いますが、よい案などはございますか。
- (西野委員) 石狩市体育協会としてはスポーツを通しての健康づくりを行っておりますので、そういう意味では市民の皆さんに運動に取り組んでいただきたいと思います。  
質問というよりは感じたことですが、第3次計画案は全体的に最終評価をもとに作られていて、コンパクトにまとめられていて読みやすいと感じました。また、石狩市体育協会は名称が来年4月から石狩市スポーツ協会に変わる予定です。石狩市健康づくり計画(第3次)は3月発行ですが、掲載の際は新名称で掲載することを検討していただきたい

と思います。

●(廣瀬課長) 検討します。

○(中川委員) 第3次計画案についてよく作られていると感じました。その上で国・北海道と一緒の項目・違う項目がありますが、この選択はどのような基準で選ばれていますか。

●(廣瀬課長) 国・北海道の目標指標も参考にした上で、市として評価ができるものと、情報収集及び評価が難しいものがございまして、日常業務の中でしっかり評価しているけるものを選択しています。

○(上田委員) 12 ページの「幼児・児童・学童等」の定義はどうなっているのか確認をお願いします。また文章の一部に誤字等がありますので修正をお願いします。

○(八島会長) 「幼児・児童・学童等」については、表現により対象となる年齢層が変わってくるので各分野で対象となる年齢層を確認の上、統一した方がよいと思います。

●(廣瀬課長) ご指摘いただいた部分を修正するとともに、定義も再確認して統一性のあるものにします。

○(戎屋委員) 100日ダイエット作戦のコラム等が素晴らしかったので町内会の回覧板や広報で周知をした方がよいと思いますし、数値が目に見えて説得力があるので、アンケートは活用してほしい。また、計画の方針として事業に参加した人の声やデータに関する広報に力を入れてほしいです。

○(八島会長) データを示すことで、市民自ら自主性を発揮するようになることから、事業が目につくように色々な方法で頑張ってもらいたいということでもよろしいでしょうか。

○(戎屋委員) はい。アンケートでの数字や検診の参加者の実体験などをもっと広く発信して周知してほしいと思います。

●(廣瀬課長) 事業の周知というご意見に関して、周知という面ではがん検診の受診率に苦勞しております。大人の検診ガイドを広報に折り込んだり、過去に検診を受けてしばらく受けていない方に個別通知を出したり、色々な試みをしているのですが、やはり周知不足な面があります。委員の皆様の中で、より市民の目に触れられる方法などについてご意見があればぜひお聞きしたいと思います。

○(中川委員) がん検診の受診率向上という面で、子宮頸がん検診だけほかの検診と比べて高いのはなぜでしょうか。

●(廣瀬課長) 子宮頸がん検診は、個別の受診がかなり多く、石狩市内にあるエナレディースクリニックを利用して受けている方がとても多いです。また、私たちが就学時健診に来ているお母さん方や乳幼児健診に来ているお母さん方にチラシを配って受診をお勧めするなどしており、そのような複合的な要因で子宮頸がん検診は受診率が高くなっていると思います。

○(中川委員) 例えば大腸がん検診と言われてもどんな検診を行うのかイメージが湧かない人が多いと思います。もっと検診で何をやるか具体的に周知してイメージさせた方が受けやすくなるのではないのでしょうか。

●(廣瀬課長) もっと検診内容について、具体的に周知していきたいと思います。

【その他全体を通して】

●(廣瀬課長) 今回の第3次計画案では、第3章の各分野の中で市の現状や課題の記載が無かった

ため、皆様のご意見を踏まえた修正の際に付け加えさせていただきたいと思います。

### 3 その他

- (廣瀬課長) 今後の協議会開催のスケジュールについて、第2次計画の最終評価案と第3次計画案は、本日のご意見などを反映した上で必要な修正を行い、委員の皆様にご覧いただいた上で、第3次計画案について本年12月にパブリックコメントを実施予定です。

その後パブリックコメントでいただいたご質問やご意見などを事務局で取りまとめ、さらに必要な修正を加えた上で、最終版を作成し、来年3月に開催予定の第2回協議会においてお示しします。

### 4 閉会

令和5年11月28日 議事録確定

石狩市健康づくり推進協議会

会長 八島 絵美